

地域ささえあい通信

第3号 (発行)2022年12月 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係

新型コロナウイルス感染症対策に関する留意点 ～寄り合い処・子育てサロン編～

令和4年も残すところあとわずかとなりました。そして、新型コロナウイルス感染症の流行から早くも3年が経過しようとしています。

「新しい生活様式」で地域福祉活動に影響が生じる中、以前と同じ活動を再開することは難しいかもしれませんが、“まだ終息の見えない”新型コロナウイルス感染症と付き合いながら活動をするため、現況の留意点をまとめましたのでご参考にしてください。これはルールではなく、あくまでも目安として作成しましたので無理なく取り組んでいただければ幸いです。

それでは、よいお年をお過ごしください。

家での準備

- スタッフ及び参加者、一緒に住んでいる家族に、発熱・咳がある等体調が悪い場合は、参加を控える。
- 会場に来る前に必ず体温を測る。

事前準備

- 机・ドア等、人の触るところを消毒する。
- 受付に、参加者名簿・マスク(忘れた人用)・消毒液等を用意する。

受付

- 参加者名簿を作成し、体調確認(体温・咳・鼻水等)をする。
(子育てサロンは『ご利用の皆様へ』の書類記入もお願いします。)
- ワクチン接種をしても、参加者及びスタッフはマスクを着用する。
※乳幼児のマスクは不要
- 石けんやアルコール消毒液による手洗いを励行する。
※玩具や物品の消毒を励行する。

開催中

- 人と人との間隔を空ける。
- 遊びの環境にも配慮する。
・玩具、わらべ歌、手遊び、絵本の読み聞かせは距離を置く。
- 室内の換気を適宜行う。(エアコン使用中もこまめに換気する。)
- 飲食は『静かなマスク会食』を心掛ける。
・マスクの着用/3密の回避/手洗い・消毒など
- 歌は、マスクを着用し口ずさむ程度の声量で歌う。
- 軽体操を行う場合、無理のないよう負荷を下げ、休憩を取るなどの配慮をする。
- 開催時間は、無理のない時間設定で実施する。



富士宮市生活支援体制整備事業 第二層協議体 南アルプス市視察研修

富士宮市では、介護保険制度のもと高齢者の介護予防生活支援につながる住民の助けあい活動を行うことを目的に第二層協議体を組織しています。

第二層協議体ではこの活動をより発展させるため、この事業が活発に行われている南アルプス市へ訪問し、意見交換会を開催しました。



富士宮市と南アルプス市の違いを比べてみると・・・？

Q. 協議体はいつからできましたか？



富士宮

平成 28 年に第一層協議体を設置し、その後平成 30 年から令和 2 年度まで第二層協議体の設置を進め 6 箇所の第二層協議体を設置しました。



南アルプス

平成 28 年に第一層協議体と第二層協議体 2 箇所を設置しました。その後第二層協議体の設置を進めていく中、令和元年度には第三層協議体の必要性を感じ設置を始め令和 4 年には 14 箇所の第二層協議体と 50 箇所の第三層協議体が市内に設置しました。

Q. 協議体の大きさについて教えてください。



富士宮

第二層協議体は地区社協 2~3 つを合わせた大きさとなっています。



南アルプス

第二層協議体は小学校区、第三層協議体は自治会単位となっています。この第三層協議体は住民の方から、もっと身近な問題に取り組んでいきたいという想いから、立ち上げたいと声があがりました。

Q. 協議体のメンバーはどんな方が集まっていますか？



富士宮

各地域の自治会や地区社協、民生委員、法人等から代表者を推薦していただいています。そのため、責任感の強い方が多いです。



南アルプス

説明会に参加いただき活動に興味を持った方が集まっています。そのため、地域福祉に関心のある、モチベーションの高い方が多いです。

Q. 協議体活動はどのように進めていきますか？



南アルプス

協議体という地域の方が地域課題について話す場所が出来た事が大切なことだと思っています。地域性があるため活動は様々ですが、これからも住民の活動を応援していきます。



富士宮

今回の意見交換会で学んだことを今後の協議体に活かしていきます。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました m (__) m